

物りすれと思はよ

このごろ物りすれがむとくとしてという会話が

ある、そうだ、そうだと相づちをうつことしき

り9同年令の伊阿

たしかによくわすれる、今話そわとして

「^ア」と消えてしらする、存かるか思い出せ居い

言葉などデコクして姉にきくニとがある、

姉と話をしついでと思はよ、此存、言葉とつ

づいて次々と思はよ、あが出て来る、一つきつか

けがあるといもずるの様に思はよ、あが出て来る

何故か物々すれと思いは遅効していろ

だ 今更で金子と来て全部おぼえていろ

は 存い 物々すれ存がら次々とおぼえていく

だ 一つの容器の中に一定量しか入るものと

す るとみふれ出るのやあやだ その罫

~~印~~ なるものがみふれ出てしまふと大変だから

し かり 記憶にといやうおくことが大印

だ そんな風に暮るとかよいことの物々すれ

は 自然心と想えて来る

こころとこころ ~~暑~~ くるたつて来た着るものを

りかえようと思つたのだが去年の夏何を着て

いたか思い出せな。せわは存つていらへん

はしはきいふた「去年の夏何を着て」はかお

ぼえつてい^{一夫あふ}せわは存つていらるの何故人

何人若おぼえつていらるわ「何だ」はか思い出

せわい^あの^あ当然のよろに答えうわて年令は

肉保存く去年の夏服は忘らるまの存りだと思

う、何か特別なるよの^{記憶}憶はのころのだ

承ととつて特別なるよはS免堂とのわあわ

お、ほ、かろが^おち帯杖ほろと^おか^おま^おほと

の衝撃だつた

あつり又き原車柄があるとは他は消してんで

1 子う 去年は何もなかった一年のようだが

只思い去後のころ、一生おわるまで思い去は

のころ